



上映時間

| | 13:00 | 14:05 | 15:10 | 16:15 | 17:30 |
|--------|------------|---------|------------|---------|------------|
| 6月4日㊥ | 光と影 | あやまち | 裁判長のお弁当 | いくさのかけら | 村と戦争 |
| 6月5日㊦ | 浮いてまう | 約束 | 光と影 | オオシカの村 | 砂漠に降りた飛天たち |
| 6月6日㊧ | 罪と罰 | 光と影 | とうちゃんはエジソン | あやまち | ガウディへの旅 |
| 6月7日㊨ | 裁判長のお弁当 | 検事のふろしき | 光と影 | 証言 | 毒とひまわり |
| 6月8日㊩ | 光と影 | 罪と罰 | 浮いてまう | 約束 | 村と戦争 |
| 6月9日㊪ | とうちゃんはエジソン | あやまち | 光と影 | 証言 | 毒とひまわり |
| 6月10日㊫ | 検事のふろしき | 裁判長のお弁当 | いくさのかけら | オオシカの村 | 砂漠に降りた飛天たち |

| | 13:00 | 14:30 | 15:45 | 16:50 | 17:55 |
|--------|------------|---------|------------|---------|------------|
| 6月11日㊬ | ガウディへの旅 | 証言 | 毒とひまわり | 浮いてまう | 約束 |
| 6月12日㊭ | 罪と罰 | 検事のふろしき | とうちゃんはエジソン | 光と影 | あやまち |
| 6月13日㊮ | 村と戦争 | 証言 | 毒とひまわり | あやまち | 裁判長のお弁当 |
| 6月14日㊯ | 砂漠に降りた飛天たち | オオシカの村 | 浮いてまう | 約束 | 光と影 |
| 6月15日㊰ | あやまち | 証言 | 毒とひまわり | いくさのかけら | とうちゃんはエジソン |
| 6月16日㊱ | 村と戦争 | いくさのかけら | 検事のふろしき | 裁判長のお弁当 | 罪と罰 |
| 6月17日㊲ | ガウディへの旅 | 光と影 | あやまち | 浮いてまう | 約束 |

| | 13:00 | 15:10 | 16:50 |
|--------|--------|------------|--------|
| 6月18日㊳ | 青空どろぼう | あやまち | 青空どろぼう |
| 6月19日㊴ | 青空どろぼう | 光と影 | 青空どろぼう |
| 6月20日㊵ | 青空どろぼう | 検事のふろしき | 青空どろぼう |
| 6月21日㊶ | 青空どろぼう | 裁判長のお弁当 | 青空どろぼう |
| 6月22日㊷ | 青空どろぼう | とうちゃんはエジソン | 青空どろぼう |
| 6月23日㊸ | 青空どろぼう | いくさのかけら | 青空どろぼう |
| 6月24日㊹ | 青空どろぼう | あやまち | 青空どろぼう |



| | 13:00 | 15:10 | 16:50 |
|--------|--------|------------|--------|
| 6月25日㊺ | 青空どろぼう | 浮いてまう | 青空どろぼう |
| 6月26日㊻ | 青空どろぼう | 約束 | 青空どろぼう |
| 6月27日㊼ | 青空どろぼう | あやまち | 青空どろぼう |
| 6月28日㊽ | 青空どろぼう | オオシカの村 | 青空どろぼう |
| 6月29日㊾ | 青空どろぼう | ガウディへの旅 | 青空どろぼう |
| 6月30日㊿ | 青空どろぼう | 砂漠に降りた飛天たち | 青空どろぼう |
| 7月1日㊀ | 青空どろぼう | 村と戦争 | 青空どろぼう |



| | 13:00 | 15:10 | 16:50 |
|-------|--------|--------|--------|
| 7月2日㊁ | 青空どろぼう | 罪と罰 | 青空どろぼう |
| 7月3日㊂ | 青空どろぼう | あやまち | 青空どろぼう |
| 7月4日㊃ | 青空どろぼう | 証言 | 青空どろぼう |
| 7月5日㊄ | 青空どろぼう | 毒とひまわり | 青空どろぼう |
| 7月6日㊅ | 青空どろぼう | 浮いてまう | 青空どろぼう |
| 7月7日㊆ | 青空どろぼう | あやまち | 青空どろぼう |
| 7月8日㊇ | 青空どろぼう | 光と影 | 青空どろぼう |



6月4日(土)～7月8日(金)

前売:5回券 4,500円(税込) 当日料金:1作品1,000円(税込)
前売5回券はポレポレ東中野劇場窓口、チケットぴあにて販売

ポレポレ東中野

〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-1
ポレポレ坐ビル地下

03-3371-0088 | www.mmjp.or.jp/pole2



まだ、ありがとうとは言えない――
三重県四日市市、――
公害裁判へ立ち上がった人々と、
38年にわたって彼らを支え続けた男がいる。

青空どろぼう

ナレーション:宮本信子 音楽:本多俊之 撮影:塩原久夫 共同監督:阿武野勝彦・鈴木祐司
制作・著作・配給:東海テレビ放送 配給協力:東風 宣伝協力:スリーピン
2010年HDI16.9(日本)94分(ドキュメンタリー)

www.aozoradorobo.jp

特別鑑賞券¥1,400発売中! (当日一般¥1,700のところ)

6月18日(土)よりポレポレ東中野にてロードショー

連日13:00～/16:50～

青空どろぼう 公開記念

東海テレビレキメンタリー特集

4つのテーマ別に、15作品の一挙上映

〈松川八洲雄 テレビドキュメンタリーコレクション〉3作品

オオシカの村 (1993年/60分)

ガウディへの旅 ～世紀を超えた建築家～ (1989年/64分)

新シルクロード考 砂漠に降りた飛天たち (1991年/64分)

〈宮本信子 ナレーションデラックス〉4作品

検事のふろしき (2009年/53分)

裁判長のお弁当 (2007年/48分)

とうちゃんはエジソン (2003年/47分)

いくさのかけら ～戦後六十年 四つの物語～ (2005年/48分)

〈東海テレビドキュメンタリーの世界〉5作品

あやまち (1970年/49分)

浮いてまう ～岐阜県徳山村への愛惜～ (1977年/48分)

証言 ～調査報道・名張毒ブドウ酒事件～ (1987年/60分)

約束 ～日本一のダムが奪うもの～ (2007年/48分)

村と戦争 (1995年/71分)

〈司法シリーズ〉3作品

光と影 ～光市母子殺害事件 弁護団の300日～ (2008年/47分)

罪と罰 娘を奪われた母 弟を失った兄 息子を殺された父 (2009年/47分)

毒とひまわり ～名張毒ぶどう酒事件の半世紀～ (2010年/52分)

6/4(土)～7/8(金)ポレポレ東中野にて開催

企画:東海テレビ放送/企画協力:東風、ポレポレ東中野

ドキュメンタリーの新たな地平を発見する。

松川八洲雄 テレビドキュメンタリーコレクション 3作品



オオシカの村

1993年|60分|ナレーション:佐藤オリエ|プロデューサー:国分道雄|監督:松川八洲雄|ディレクター:三股こずえ|撮影:中島洋

◆文化庁芸術作品賞

●長野県大鹿村。室町時代の石像も残るこの村では、代々石ころだらけの山肌を耕し続け、神遊びで創造世界を楽しんできた。今は人口も激減し、そのほとんどがお年寄り。しかし、近年になり住み着いた若い世代もいる。織機りをして暮らすチェコ人、稲作に挑戦するイギリス人、村ではおヒゲさんと呼ばれる、いわゆるヒッピーの男性たち。深い谷底の村で慎ましく暮らしてきた村人の姿を映し出す。



ガウディへの旅 ～世紀を超えた建築家～

1989年|64分|ナレーション:奥田瑛二|監督:松川八洲雄|プロデューサー:高松良丸|ディレクター:阿武野勝彦|撮影:中島洋

◆日本民間放送連盟賞 教養部門 優秀賞

●1926年、バルセロナの街中で、市電にはねられて死んだ一人の老人。サグラダファミリアを建設中のアントニ・ガウディだった。カタロニアの田舎町で育ったガウディが、バルセロナに実業家グエルと築こうとした理想郷。彼の死後、台頭してきたファシズムによって抑圧された自由。刻々と変わりゆく時代を背景に、ランボオの詩の朗読と成長し続けるサグラダファミリアが重なり合う。



新シルクロード考 砂漠に降りた飛天たち

1991年|64分|ナレーション:江守徹|ディレクター:石井仁|監督:松川八洲雄|撮影:中島洋、岩井彰彦

●奈良の法隆寺に描かれた飛天。同じモチーフが、遥か西の地ウイグルにあるキジル千仏洞に描かれている。中国西域の暗黒部と呼ばれたこの砂漠の地は、しかしシルクロードのオアシス都市として発展し、ここで西洋と東洋の文化が入り混じった。古代の人々が空に観た仏教の宇宙観。キジル千仏洞の顛末を通じて、遥か西の地と日本の仏教思想を繋ぐシルクロードを捉えなおすドキュメンタリー。

東海テレビ ドキュメンタリーの世界 5作品



あやまち

1970年|49分|ナレーション:岸田今日子|企画:田中信之|ディレクター:大西文一郎|撮影:中島洋

◆日本民間放送連盟賞 銀賞

●行政が誘致したコンビナートが吐き出す煙の下の町・三重県四日市市磯津。ぜんそくに蝕まれ苦しむわが子を自分の手で救えないと知った時、母親たちが集まり、訴え、行進する。しかしデモの流れは広がらず消えた。工場で豊かになった磯津は、きれいな空と海も失った。詩人・石垣りんが紡ぐ言葉にのせ、磯津の路地裏から四日市公害を見た映像詩。



浮いてまう ～岐阜県徳山村への愛惜～

1977年|48分|ナレーション:渡辺美佐子|プロデューサー:ディレクター:山内公明|撮影:中島洋

◆文化庁芸術祭参加

●昭和52年、岐阜県徳山村。この村は、間もなくダムに沈む。村の水没は、村人たちにとっては「浮いてしまう」こと。戦時中、兵士として男たちが出ていき、戦後、働き手として若者が町へ出ていき、いま経済成長という新たな戦争で、村人は村から引きはがされ浮いてゆく。村人たちが村で過ごす最後の一年間を、60戸余りが暮らす集落・戸入の人々の日常と季節の移り変わりを通して描き出す。



約束 ～日本一のダムが奪うもの～

2007年|48分|ナレーション:小西美帆|プロデューサー:ディレクター:阿武野勝彦|取材:鈴木祐司|撮影:塩屋久夫

◆地方の時代映像祭 グランプリ、日本民間放送連盟賞 報道部門 優秀賞

●人生最大の悲劇は、金に換えられないものを力づくで奪われたり、騙し取られたりするのではないか。岐阜と福井の県境。「徳山ダム」のため徳山村は水没し廃村となった。行政は水没する道の代わりに新しい道路網の建設を約束したが、平成の市町村合併のドサクサにまぎれて反故にした。故郷を奪われ、道まで奪われた村民の怒り。取材開始は32年前。

宮本信子 ナレーションデラックス 4作品



検事のふろしき

2009年|53分|ナレーション:宮本信子|音楽:本多俊之|プロデューサー:阿武野勝彦|ディレクター:齊藤潤一|撮影:塩屋久夫

◆キャラクター賞 奨励賞

●撮影絶対禁止の検察庁。そこにカメラを長期に入れた。検事は、法廷に行く際、濃紺の風呂敷を持っていく。大きな風呂敷の中には、被告の罪状の一部始終が入っている。裁判員裁判の導入前後、日本で初めて検察庁の内部に長期密着取材を敢行し、『公益の代表』として仕事にあたる検事たちの知られざる姿を映像化した。



裁判長のお弁当

2007年|48分|ナレーション:宮本信子|プロデューサー:阿武野勝彦|ディレクター:齊藤潤一|撮影:板谷達男

◆キャラクター賞 大賞、日本放送文化大賞 入選

●弁当が二つ。ある裁判長の注目すべき日常。愛妻弁当を毎日昼と夜、執務室で二回食べる生活サイクル。日曜も祝日も夜10時まで仕事を続けている。名古屋地裁の天野裁判長は、毎年400件の新規事件と100件の裁判を同時進行しなくてはならないのだ。日本で初めて、現役の裁判長に長期密着し、裁判所の内部そして裁判官の肉声を世に出したドキュメンタリーである。



いくさのかけら ～戦後六十年 四つの物語～

2005年|48分|ナレーション:宮本信子|プロデューサー:ディレクター:阿武野勝彦|撮影:塩屋久夫、岩井彰彦

●終戦から60年、戦争の名残と共に生きる人々がいる。戦場で綴られた兄の日記。借金で家族を苦しめた父の隠された戦争時代の記憶。防空壕で聞いた、音楽好きの青年将校の叶わぬ夢。爆撃された東洋一の兵器工場・豊川海軍工廠の、最後の慰霊祭。それぞれが、いまを生きる人々が握りしめている戦争の欠片。4つの物語を通して、戦後60年間続いてきた人々の想いを描き出す。

『平成ジレンマ』の公開と併せて2月に開催された「東海テレビドキュメンタリー傑作選」では、終了直後からアンコールを望む声が多数よせられました。そしてこの度、『青空ざろぼう』の公開を記念し、規模をより拡大させた「東海テレビドキュメンタリー特集」を開催します。数多くの傑作群の中から15作品セレクトし、4つのプログラム・テーマを設けてお贈りします。

「鳥獣戯画」などで国際的な評価を得たドキュメンタリー作家・松川八洲雄が、東海テレビで手がけた作品群から3本を厳選した〈松川八洲雄テレビドキュメンタリーコレクション〉。東海テレビのドキュメンタリーを特徴づける大きな要素の一つ、こだわりのナレーション。なかでも、女優・宮本信子による多彩なナレーションが魅力の4作品を集めた〈宮本信子ナレーションデラックス〉。テレビドキュメンタリーの大きな役割は、一つの事件や事象を継続して追い

続けること。なかには時代を、世代を超えてスタッフに受け継がれ、取材期間が40年にも及ぶものも。そんな持続力が生み出した作品を集めた〈東海テレビドキュメンタリーの世界〉。そして、『平成ジレンマ』の齊藤潤一監督&阿武野勝彦プロデューサーが生み出した〈司法シリーズ〉の中から代表作3作品を上映。

※「検事のふろしき」「裁判長のお弁当」は司法シリーズとして制作されましたが、今回のプログラムでは、〈宮本信子 ナレーションデラックス〉として上映します。

※『あやまち』→「青空ざろぼう」は四日市ぜんそくを、「村と戦争」→「いくさのかけら」は戦後を、「浮いてまう」→「約束」は徳山ダム建設を、「証言」→「毒とひまわり」は名張毒ぶどう酒事件をそれぞれ継続して取材した作品です。

司法シリーズ 3作品



光と影 ～光市母子殺害事件 弁護団の300日～

2008年|47分|ナレーション:寺島しのぶ|プロデューサー:阿武野勝彦|ディレクター:齊藤潤一|撮影:岩井彰彦

◆日本民間放送連盟賞 最優秀賞、芸術祭 優秀賞、キャラクター賞 優秀賞

●殺人鬼を守る鬼畜弁護団というバッシング。この事件で弁護士たちは激しく非難された。1999年山口県光市で発生した母子殺害事件。当時18歳1ヶ月の少年が逮捕された。世間は、犯人を死刑にせよと熱狂していた。報道も、被告の発言を「荒唐無稽」と切り捨て、弁護など不要という世論に加担していた。鬼畜と呼ばれた弁護団の内部にカメラを入れ、社会の深層を照射した。



証言 ～調査報道・名張毒ぶどう酒事件～

1987年|60分|ナレーション:佐藤慶|プロデューサー:江野雄二|ディレクター:山内公明、門脇康郎

●昭和36年、三重県名張市葛尾という小さな山村で、村の集會中、ブドウ酒に農薬が混入され、女性5人が死亡する事件が起きた。犯人とされた奥西勝の犯行を断定するには物証が乏しく、村人たちの証言が決め手となった。しかし、事件からおよそ1ヶ月、彼らは事件直後の証言を一斉に変更し、新しい証言をもって奥西の死刑が確定する。独自の取材と検証で、名張毒ブドウ酒事件の証言を巡る真相に迫る。



村と戦争

1995年|71分|ナレーション:杉浦直樹|プロデューサー:ディレクター:阿武野勝彦|撮影:岩井彰彦

◆日本民間放送連盟賞 優秀賞、キャラクター賞 優秀賞、放送文化基金賞 優秀賞

●人口3,000人。小さな村の戦争とその傷痕。岐阜県白川村。戦後50年という年に、村の古老たちが、各戸を回り、平和祈念館に収めるために戦争関連の遺品を収集していた。ハワイ真珠湾へ参加した雷撃隊員、満州開拓団、学徒出陣の兄と植物園鑑の好きな弟。半世紀たった山里で戦時品が語りだす。

ドキュメンタリーの新たな地平



罪と罰 娘を奪われた母 弟を失った兄 息子を殺された父

2009年|47分|ナレーション:藤原竜也|プロデューサー:阿武野勝彦|ディレクター:齊藤潤一|撮影:板谷達男

◆FNSドキュメンタリー大賞 大賞、日本放送文化大賞 入選

●犯罪被害者は、みな死刑を求めているのか…。2007年、名古屋・間サイト事件で娘を殺害された母、磯谷富美子さん。1983年、半田保険殺人事件で弟を殺された兄、原田正治さん。1994年、長良川木曾川連続リンチ殺人事件で一人息子を失った父、江崎恭平さん。死刑の現実と遺族の多様な思いを、肉親を殺害された3人の取材で明らかにする。



毒とひまわり ～名張毒ぶどう酒事件の半世紀～

2010年|52分|ナレーション:仲代達矢|プロデューサー:阿武野勝彦|ディレクター:齊藤潤一|撮影:坂井洋紀

◆キャラクター賞 奨励賞

●司法は、獄中死を望んでいる…。1961年、三重県名張市で起きた女性5人の毒殺事件。犯人とされた奥西勝死刑囚は、一貫して獄中から無罪を訴え続けている。2010年4月、最高裁は名古屋高裁へ審理を差し戻した。鈴木泉弁護団長は「一日も早い釈放を勝ち取る」と言う。しかし、奥西は84歳…。帝銀事件の周辺も辿り、一度下した判決に固執する司法の姿を浮き彫りにする。

平を発見する。